

協同

月刊 BUSINESS-LINK 中小企業連携組織活性化情報

京都府中小企業団体中央会

newsline

2026/ 2

令和8年 新年賀詞交歓会を開催	1
特集 京都府の労働事情①	2~3
中央会News 中央会70周年記念事業『未来創造！京都府中小企業組合フェア』のご案内	4
企業組合部会 組合運営研究会を開催	4
京都府テントシート工業組合 京都府と防災協定を締結	4
京都市長との懇談会を開催	5
京都経済お天気	6
令和7年分確定申告	8

令和8年 新年賀詞交歓会を開催

1月6日(月) 京都ブライトンホテルにおいて、京都経済界のトップを切って新年賀詞交歓会を開催した。

府内中小企業団体の代表者をはじめ、行政機関、関係機関等の方々約230名が参集し年頭の挨拶を交わした。

安藤会長より、国内経済には緩やかな回復の動きが見られる一方、中小企業・小規模事業者の現場においては、価格転嫁の困難さ、人手不足、事業承継問題など切実な課題が依然として残っている。本会は、現場の声を確実に行政へ届け、施策に反映させ、また、事業者の積極的な挑戦の後押しを中央会の使命として、中小企業組合に象徴される連携組織への支援に全力を注ぎ、組合の基盤強化や地域活性化に果敢に取り組む決意が語られた。

また、本会は創立70周年という大きな節目を迎えており、来る2月22日に「未来創造！京都府中小企業組合フェア in みやこめっせ」を開催し、組合の魅力発信と担い手確保につなげる計画が発表された。

続いて、ご来賓を代表して、西脇隆俊京都府知事、松井孝治京都市長よりご祝辞を賜った後、新年の門出を祝い、一般社団法人京都銀行協会の安井幹也会長のご発声により、京都市清酒の普及の促進に関する条例に則り伏見の銘酒で乾杯し、新たな年のスタートを切った。



安藤会長（開会挨拶）



西脇京都府知事（ご祝辞）



松井京都市長（ご祝辞）



安井京都銀行協会会長（乾杯）



大嶋副会長（閉会挨拶）

ありがとう きもちつたえる ことばだよ こころあたたか まほうのことば

京都人権啓発推進会議／京都府中小企業団体中央会

京都府の労働事情①

～令和7年度 中小企業労働事情実態調査報告書 要約版～

本会では、京都府内の中小企業の経営状況等を的確に把握するため、中小企業の抱える課題を様々な視座から分析し、各事業主・事業所の個性がいかに発揮される環境整備に資するため、昭和39年より「中小企業労働事情実態調査」を実施しています。

ここでは「令和7年度 中小企業労働事情実態調査報告書」の内容を抜粋し、全2回にわたって紹介します。

※調査対象事業所数1,300件、回収数335件、回収率25.8%

※令和7年7月1日時点の状況を調査しました。

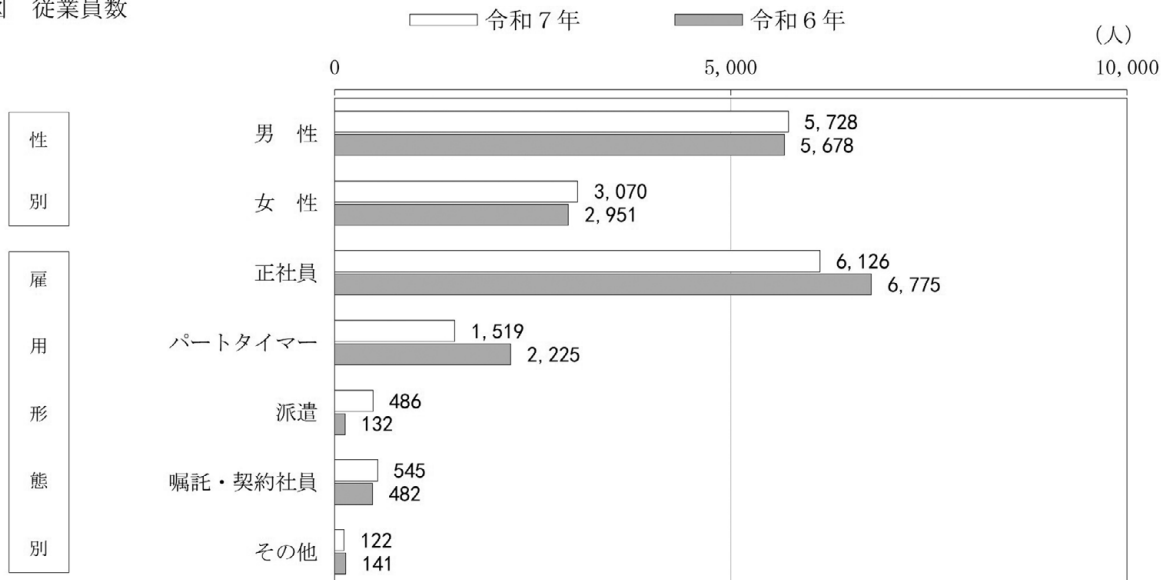
1. 従業員数について

(1) 従業員数の推移

従業員数（京都府計）について、性別では「男性」が5,728人、「女性」が3,070人で、前年度調査と比べ男性は50人増加、女性は119人増加した。

雇用形態別については、「正社員」「パートタイマー」が減少、「派遣」「嘱託・契約社員」が増加している。

図 従業員数



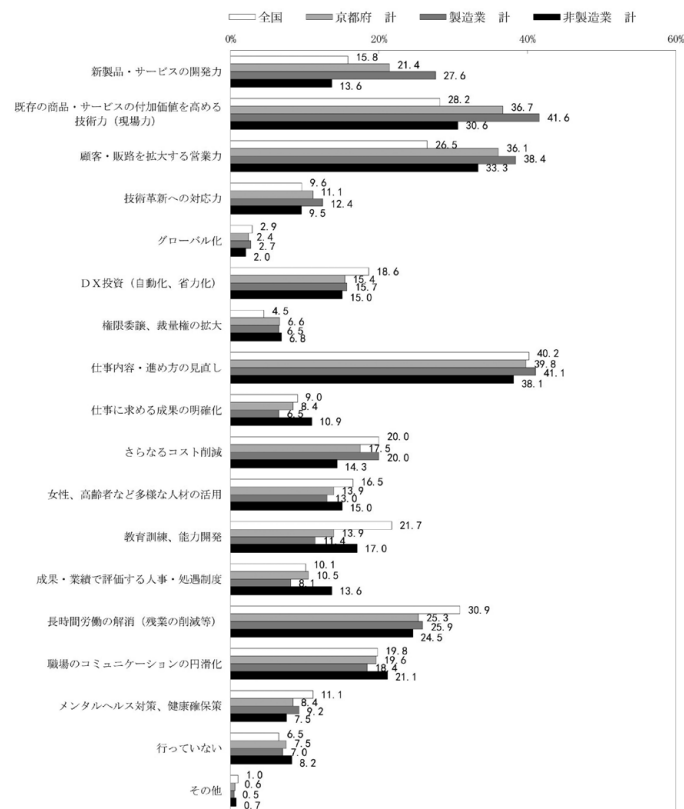
2. 過去3年間に労働生産性を高めようとして行った取組みについて

(1) 過去3年間に労働生産性を高めようとして行った取組み（複数回答）

過去3年間に労働生産性を高めようとして行った取組みについてみると、京都府計で「仕事内容・進め方の見直し」が39.8%で最も高く、次いで「既存の商品・サービスの付加価値を高める技術力（現場力）」36.7%、「顧客・販路を拡大する営業力」36.1%、「長時間労働の解消（残業の削減等）」25.3%と続いており、全国平均と比べると「既存の商品・サービスの付加価値を高める技術力（現場力）」では8.5ポイント、「顧客・販路を拡大する営業力」では9.6ポイント上回っている。

産業別にみると、製造業の1位は「既存の商品・サービスの付加価値を高める技術力（現場力）」41.6%、非製造業の1位は「仕事内容・進め方の見直し」38.1%となっている。製造業は上位4項目で全国平均・京都府計・非製造業を上回っている。非製造業では下位項目ではあるが「仕事に求める成果の明確化」「成果・業績で評価する人事・処遇制度」「職場のコミュニケーションの円滑化」が全国平均・京都府計・製造業を上回っており、業種により取組み内容に差が見られた。

図 過去3年間に労働生産性を高めようとして行った取組み（複数回答）



3. 原材料費、人件費（賃金等）アップ等に対する販売価格への転嫁の状況について

（1）原材料費、人件費等の増加による販売・受注価格への転嫁状況

原材料費、人件費等の増加による販売・受注価格への転嫁状況をみると、京都府計では「価格の引上げ（転嫁）を実現した」が52.0%で最も高く、次いで「価格引上げの交渉中」16.9%、「これから価格引上げの交渉を行う」9.4%と続いており、産業別の製造業・非製造業においても上位2項目は同様の傾向がみられる。

規模別については概ね同様の傾向ではあるが、「100～300人」のみ「これから価格引上げの交渉を行う」15.4%が「価格引上げの交渉中」7.7%を7.7ポイント上回り逆転している。

表 原材料費、人件費等の増加による販売・受注価格への転嫁状況 単位：事業所数 社、その他は%

項目	事業所数	価格の引上げ（転嫁）を実現した	価格引上げの交渉中	これから価格引上げの交渉を行う	価格を引き下げた（またはその予定）	価格転嫁はしていない（価格変動の影響はない）	価格転嫁は実現しなかった	対応未定	その他
業種・規模									
全国	15,020	51.1	18.2	9.0	0.5	7.6	4.7	7.6	1.3
京都府 計	331	52.0	16.9	9.4	0.3	4.8	8.2	6.3	2.1
製造業 計	186	54.3	18.8	10.2	0.5	2.2	9.2	4.3	0.5
非製造業 計	145	48.9	14.5	8.3	0.0	8.3	6.9	9.0	4.1
1～9人	152	48.0	10.5	9.9	0.7	7.2	12.5	7.9	3.3
10～29人	101	52.5	24.8	8.9	0.0	2.0	6.9	4.9	0.0
30～99人	65	58.5	21.5	7.7	0.0	3.1	1.5	4.6	3.1
100～300人	13	61.5	7.7	15.4	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0

（2）原材料、人件費、利益を含めた販売価格への転嫁の内容（複数回答）

原材料、人件費、利益を含めた販売価格への転嫁の内容をみると、京都府計では「原材料分の転嫁を行った（行う予定）」が78.2%で最も高く、「人件費引上げ分の転嫁を行った（行う予定）」（37.0%）、「利益確保分の転嫁を行った（行う予定）」（23.7%）と続く。産業別の製造業・非製造業、規模別においても「原材料分の転嫁を行った（行う予定）」が7割以上と高く、中でも規模別の「100～300人」においては9割台と高くなっている。

表 原材料、人件費、利益を含めた販売価格への転嫁の内容 単位：事業所数 社、その他は%（複数回答）

項目	事業所数	原材料分の転嫁を行った（行う予定）	人件費引上げ分の転嫁を行った（行う予定）	利益確保分の転嫁を行った（行う予定）	その他
業種・規模					
全国	3,860	68.7	58.0	30.2	1.5
京都府 計	84	69.0	42.9	31.0	1.2
製造業 計	52	71.2	44.2	40.4	1.9
非製造業 計	32	65.6	40.6	15.6	0.0
1～9人	29	75.9	34.5	20.7	0.0
10～29人	34	61.8	38.2	32.4	0.0
30～99人	19	73.7	63.2	42.1	5.3
100～300人	2	50.0	50.0	50.0	0.0

京都府中小企業団体中央会創立70周年記念事業 『未来創造！京都府中小企業組合フェアin みやこめっせ』開催のご案内

本会では、創立70周年を迎えることから、その記念事業として標記事業を開催します。

連携から生まれる中小企業・小規模事業者の「技」「ものづくり」「食」を見て・知って体験できるイベントです。ブースコーナーだけではなく、ステージイベントも同時開催！

当日は約70団体・100ブースが出展、子供から大人までお楽しみいただける1日です！

■開催日時 令和8年2月22日（日）10時～16時

■開催場所 みやこめっせ1階第2展示場(全面)

■テーマ ～中小企業の魅力と活力をひろげよう～

■お問合せ先 『未来創造！京都府中小企業組合フェアin みやこめっせ』運営事務局（株式会社西産装美内）

TEL :075-741-1109/FAX :075-744-1601/e-mail: chuokai70th@gmail.com

平日10:00～17:00 土・日・祝日は除く

■詳細はこちら <https://kyoto-chuokai-fair.peatix.com>



企業組合部会 組合運営研究会を開催

令和7年12月3日（水）、本会の企業組合部会において組合運営研究会を開催した。企業や地域経済を取り巻く環境が大きく変化する中、平素は見落としがちな自社の企業価値を適切に把握し、その向上を図るとともに、将来を見据えた経営や事業承継の在り方を考えることを目的として実施した。講師には、株式会社経営共創基盤 ディレクター 圓城靖浩氏を招き、「ローカル経済圏からはじまる日本再興について」というテーマで開催した。



講師
株式会社経営共創基盤 (IGPI)
ディレクター 圓城 靖浩氏

講演では、過去数十年にわたるグローバル化やデジタル革命が先進国経済や雇用構造に与えた影響、日本の地方経済が抱える課題について分かりやすく解説された。

さらに、今後は中小企業が中心となるローカル経済圏において、付加価値労働生産性の向上や柔軟な事業承継に取り組むことが重要であると示され、具体的な数値や実例を交えた説明により、理解を深めることができた。

参加者は、自社や組合運営の改善、地域経済の活性化に直結する考え方を学び、今後の経営判断や組合活動に主体的に活かせる多くの示唆を得るとともに、地域社会における中小企業の役割を再認識する大変貴重で有意義な機会となったといえる。今後の実務や運営改善に直結する研究会であったと評価された。

京都府テントシート工業組合 京都府と防災協定を締結

京都府テントシート工業組合は、同年12月22日、京都府と「災害時等における物資供給に関する協定」を締結した。本組合での協定は関西初である。

本協定は、地震や風水害などの大規模災害が発生した際、京都府からの要請に基づき、同組合が避難所等で必要となる物資を供給するもので、供給物資には、パーティションテントのほか、簡易ベッド、簡易トイレ、屋外テント、ブルーシートなどが含まれており、避難所環境の整備や被災者の生活支援を目的としている。

京都府テントシート工業組合には府内14事業者が加盟しており、平時から組合員間の連携体制を構築してきた。今回の協定締結により、災害発生時には組合員が連携し、迅速かつ円滑な物資供給を行う体制が整えられた。

本協定の締結にあたっては、本会が京都府との協議に向けた助言を行うとともに、防災・減災の事前対策に関する計画である「事業継続力強化計画」の経済産業大臣認定や株式会社商工組合中央金庫による災害時の緊急支援物資の仕入資金枠の開設など関係機関との調整も含め、円滑な協定締結に向けた取組みを支援した。

府庁で行われた協定締結式において、紀伊馬芳則代表理事は「被災した方々の不安を少しでも和らげることができればと考えている」と述べられた。

「災害時等における物資供給に関する協定」締結式で
並ぶ紀伊馬代表理事（左）と西脇京都府知事



京都市長との懇談会を開催

本会では、11月11日（火）の京都府知事との懇談会に続き、12月15日（月）ホテルオークラ京都において、京都市長との懇談会を開催し、京都市より松井孝治市長をはじめ岡田憲和副市長に加え、草木大産業観光局長等幹部が出席された。

本会からは、安藤源行会長をはじめ副会長が出席し、懇談会の冒頭には安藤源行会長より、松井孝治京都市長に要望書が手交され、各業界の中小企業が抱える課題や現状について共有するとともに、現在、京都府と本会が実施している取組や活動状況を踏まえた各項目について要望を副会長から説明し、更なる支援の強化に向けた懇談を行った。

京都市への要望として、重点要望事項及び分野別（業界・組合別）要望事項からなり、重点要望事項では、重点要望事項では、「中小企業組合等連携組織の専門支援機関である中央会の支援の拡充・強化」、「中小企業組合及び組合員への支援の拡充・強化」、「人手不足に対応する多様な労働力創出・確保と新しい働き方推進への支援」、「中小企業・小規模事業者のＩＴリテラシー向上及びデジタル人材育成に対する支援強化」、「中小企業における事業承継の課題解決に向けた連携と支援強化」、「食品産業・伝統産業をはじめとした地場産業への支援強化と各種文化事業との連携による地域活性化」の6項目をあげ、中小企業支援策のより一層の推進を強く要望した。

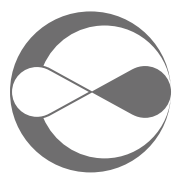


安藤会長と松井京都市長



懇談会風景

きつとみつかる
いい人、いい仕事



job sanko

ジョブ産雇

全国ネットで再就職・出向を支援します



サイジョブさん

費用は
無料

／6つの取り組みで働くと雇用をサポート／

1

離職する従業員の再就職をサポート

2

人材を確保したい企業に対するサポート

3

「キャリア人材バンク」で高齢者の再就職をサポート

4

雇用を維持するための在籍型出向をサポート

5

社員の人材育成やキャリアアップのための出向をサポート

6

研修やセミナーで従業員のスキルアップをサポート（有料）



公益財団法人 産業雇用安定センター（ジョブ産雇） 京都事務所

〒604-8162 京都市中京区烏丸通六角下ル七観音町 623 第11 長谷ビル 9階

TEL 075-211-2331

FAX 075-253-3066

ご利用時間 9:00～17:00（土・日・祝日を除く）

<https://www.sangyokoyo.or.jp>

産業雇用

検索



	業界景況天気図	概況
全 体	11月 → 12月 ☔ ☔	今月に入り中国人観光客の減少が著しく感じられるようになり、外国人観光客で賑わっていた店舗では昨年に比べ売上が大幅に落ちたとの声も聞かれた。インバウンド全体の需要は継続感があるが、諸物価高騰により消費者の財布の紐は固い。後半は年末需要がプラス要因となり、例年並みの売上を得た業界が多く見られた。しかし、中には繁忙期に十分な人員が確保できず売上機会を逃した事業者もあり、人手不足対策や人材確保に引き続き取り組んでいく必要がある。
製造業	繊維工業 ☔ ☔	繊維業界では、12月になってから組合員の駆け込み脱退が多数あり、そのほとんどが高齢で後継者がいない、織手がない等の理由による廃業であった。また、出荷額は京都府の推計では10月現在の昨年比が94%、当組合が発行している帯地の商標権表示証紙の発行枚数も昨年比93%であり、各メーカーや取り扱いの品種によって良いところ悪いところの差が出ている。
	出版・印刷 ☔ ☔	印刷業では、労働人口が減少する中、人を募っても集まらない、直ぐに退職されるという事例が多いようで、近い将来、中規模以上の事業所においては外国人労働者の雇用を検討されるケースが増えるのでは、との声がある。一方で、新卒の採用はこの数年間ずっと行っていないという事業所もある。
	鉄鋼・金属 ☔ ☔	鍍金業では、年間の予算に対して大きくショートした厳しい年だったとの報告があった。
	一般機械等 ☔ ☔	12月度のDI値は△36と前回調査よりも上昇し、昨年同時期に近い結果となった。日本経済は今後緩やかな回復が期待される見方もあるようだが、内外需共に力強さもなく、主だった不振の理由がわからない状況は続いており、底を打って上昇に転じた様子は伺えない。今後の見通しについても今より悪化との回答も多い状況である。
	その他製造業 ☔ ☔	パン・菓子製造業では、来年4月から学校給食の無償化が実施されることが決まった。当業界で学校給食を専門にしているのは4企業あり、あと1企業は卸も実施している企業である。その他に府内には専門業者が5業者あるため、全体で10業者である。今のところその業者が引き続き担当していくことになっている。この機会に他の業者の参入があるのではないかと心配していたが、従来からの業者が担当することに決まり安心した。9業者は給食がなくなれば会社をやめなければならないところであった。
非製造業	卸 売 ☔ ☔	飲食料品卸売業では、今月の売上高は前年同月比101%とわずかに上昇した。正月前の消費でプリや冷凍カニ、数の子などがよく売れた。しかし、プリの注文数は年々減ってきている。水揚げ量は前年同月比59%と大幅に減少した。前年の12月～1月が好調すぎたこともあり、下がり幅が大きく見える。プリの漁獲数が少なかった様子であった。
	小 売 ☔ ☔	各種商品小売業では、12月はもともと市場は落ちる傾向にあるが、11月から12月に入り、一気に前月までのシーズン感はなく最終週まで低調な流れであった。年末最終の動きは盛り上がった模様である。客層も変わったとのことで売れ方も変わった。中国人団体が減少し、修学旅行客も少ない。インバウンドの流れは継続感がある。
	商店街 ☔ ☔	12月に入って静かな年末に突入した。10月13日の大阪・関西万博閉幕以降も、しばらくは外国人観光客の入浴数も落ちずインバウンドの賑わいを感じていたが、先月から中国人の観光客の減少が著しく感じられるようになった。幸いなことに少し落ち着いた京都になってきたように思う。現在日本を訪れる中国人は富裕層が中心であり、そこそこの金額のブランド品が動くようになった。しかし、物価高は止まらず、特に食料品、正月の必需品である餅米が7割近く高騰するなど、正月用品の値上がりが目立った。
	サービス ☔ ☔	自動車整備業では、人材に対する調査において、整備士要員の離職率は減少しつつあり人材不足の最悪期は脱しているとの結果が出ているようだが、現状の人手不足解消は難しい。対策として、省力化や合理化による現状維持や外国人の人材募集等、新たな取組が必要となってくる。
	建 設 ☔ ☔	国土交通省は、民間建設業者のリフォーム工事について、受注量の調査結果を発表した。令和7年度第2四半期で見ると、受注高は前年同期の約33%増、受注件数で見ると約73%の増である。工事の目的は、「劣化した部分や壊れた部位の更新・修繕」が最も多い。各業者は、戸建注文住宅の受注が減少しているのをリフォーム事業でカバーしている実態が浮き彫りになった。人件費や資材の高騰により、建設費が上昇しており、消費者は慎重な対応をしている。
	運 輸 ☔ ☔	道路貨物運送業では、12月は繁忙期で組合員各社は多忙になる。ただ、今年に限っては12月26日で業務終了の取引先が多く、営業稼働日数的には少ない月となった。ドライバーに関しては、各社とも十分な人員を確保できず、仕事やトラックがあるのに稼働できていない業者も多く見られた。軽油税の暫定税率廃止に伴う政府からの補助金で少なからず燃料仕入れコストが下がり、収益状況は多少好転している状況である。しかし、本来は17円10銭の補助金が出ているが、中間の石油販売店が中抜きしているのか実際には10円程度の値下がりにとどまっている。

☔ 快晴 DI値 40以上	☔ 晴れ 20～40未満	☔ 曇り 20未満～△20未満	☔ 小雨 △20～△40未満	☔ 雨 △40以上
---------------	--------------	-----------------	----------------	-----------

※DIとは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、好転（増加・上昇）したとする割合から、悪化（減少・低下）したとする割合を差し引いた値です。

アイシーエル 人材育成研修

貸し研修室、
人材派遣も
承ります

マナー研修 管理職研修 パソコン研修

組合様主催の研修企画など
お気軽にお問い合わせください♪

中央会特別会員

ICL

株式会社アイシーエル

☎075-708-7253

URL <http://www.icl-web.co.jp> E-mail training@icl-web.co.jp

〒600-8413 京都市下京区烏丸通仏光寺下ル大政所町 680-1 第八長谷ビル 10F

詳細・お申し込みは Web サイトへ

アイシーエル 検索

営業時間 9時～18時（土・日・祝日は休業）



独立行政法人
工業所有権情報・研修館

知財

商標

看板の珈琲店名は、
ずいっとうちらの
もんにしときたい

特許

発明した切れへん花緒を
今日から店先に
並べたいんやけど…

実用新案

わしの俵、
ゴム車輪にしてから
評判ようってな

モダンなドレスを
デザインしたんやけど、
真似されたらかなわんわ

意匠

インピット

INPIT京都府 知財総合支援窓口

相談無料
秘密厳守

事前予約制



特許や商標など知的財産に関するさまざまな悩み・課題について幅広く相談を受け付け、窓口で常駐する支援担当者のほか、弁理士等の専門家や関係する支援機関と連携してワンストップサービスを無料で行います。

まずは、
お問い合わせください。

月曜日から金曜日（祝日、年末年始を除く）
9:00～12:00 13:00～17:00

075-326-0066

<https://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/kyoto/>

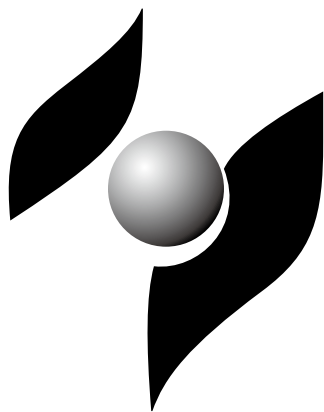


京都市下京区中堂寺南町134
京都リサーチパーク内
東地区京都府産業支援センター2階
鉄 道：JR丹波口駅下車徒歩約5分
バ ス：京都リサーチパーク前
下車徒歩約4分
駐車場：東地区地下有料駐車場



受託機関

一般社団法人
京都発明協会



人を思う。未来を思う。

商工中金

新型定期預金

マイハーベスト

有利な金利設定

通常の債券・定期預金（固定金利）より 高めの金利（当金庫内比較）
をご提供します。ただし、原則として満期日前の解約はできません。

1年、2年、3年から期間が選べる

将来の計画に合わせてお好きな期間を選べます。

- お預け入れは、50万円以上 1円単位です。
- お預け入れは、個人のお客さまに限らせていただきます。
- 詳しくは店頭のチラシまたは ホームページをご覧ください。

商工中金 京都支店

〒600-8421 京都市下京区綾小路通烏丸西入童侍者町 159-1

TEL 075-361-1120

<http://www.shokochukin.co.jp/>



人を思う。未来を思う。

商工中金

令和7年分

確定申告

スマホとマイナンバーカードで！

自宅からe-Taxで完結！

既に **74%** の方が利用しています

- ◆ 24時間オンラインで申告可能
（※メンテナンス時間を除く）
- ◆ マイナポータル連携で自動入力



マイナンバーカード
および電子証明書の
有効期限にご注意を。

← 詳細はこちら

確定申告特集



国税庁

なが——い、おつきあい。

事業資金ニーズに応える豊富なメニュー

ビジネスパートナーをご紹介

資金調達

ビジネスマッチング

企業の資本政策・成長戦略をサポート

海外でのビジネスをサポート

事業承継・M&A

貿易・海外取引

京都銀行はさまざまなシーンで
皆様を応援します！



京都フィナンシャルグループ

京都銀行

月刊中小企業連携組織活性化情報 協同

2/2026 令和8年2月10日発行 通巻950号

編集・発行

京都府中小企業団体中央会

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地 京都経済センター3階

☎ 075-708-3701 FAX 075-708-3725

URL <http://www.chuokai-kyoto.or.jp> E-Mail web@chuokai-kyoto.or.jp

表紙タイトル「協同」背景色は、京都府印刷(工)が京にゆかりのある名前を
付した12色を創作したうちの「柴漬け色」です。